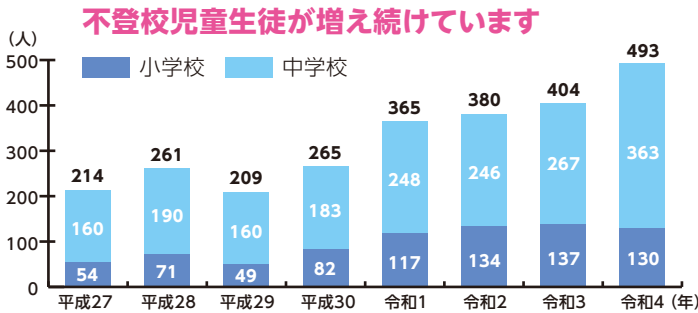


不登校対策について

不登校対策プラン

各学校において、本プランを基に不登校児童生徒を生まないために、「未然防止」「初期対応」「自立支援」に取り組んでいます。



※不登校の定義
年間30日以上欠席した児童生徒のうち、何らかの心理的、身体的要因により欠席しているもの。病気、経済的理由、その他の理由を除く。

ポイント1 魅力ある学校づくりの推進

豊かな学級づくり

- 互いを認め合える活動
- 自己有用感や自己肯定感を育む活動
- いじめを許さない姿勢

子ども同士や先生と子どもの絆づくり

- 特別活動の充実
- 道徳教育の充実
- 社会的能力の育成

分かる・できる・楽しい授業づくり

- 授業改善の推進
- 成功体験や学びの交流活動の創出

小・中学校の連携

- コミュニティー・スクールの推進
- 学びの系統性、連続性の確立

たくさんの選択肢があります

ポイント2 教育機会の確保

学級に入りにくい

各学校は別室を用意し、心を休めて早期の学級復帰、席替えやクラス替え、教育相談を充実させながらサポートしています。

- 不登校対策支援員の配置(モデル校)
- 校内の組織的な対応
- 学校での居場所づくりと学習サポート

学校に行きにくい

教育支援センター (旧学校適応指導教室)

学校復帰(高校への進学)を目指す子どもたちの学びをサポートします。



①あおば学級(教育福祉センター内)

通いやすい中心部で専門的な指導が受けられます。

②トピリカ学級(沼ノ端交流センター内)

身近で快適な施設で地域行事などに参加できます。

③山なみ学級(旧啓北中学校山なみ分校)

旧学校施設を活用した静かな環境で体験的な学習を行います。

大きな集団が苦手

樽前小学校(特認校)

「豊かな自然・少人数指導・地域の人々との交流」を生かした教育活動を推進し、区域外からの通学が特別に認められた苫小牧唯一の小学校です。



入学児童募集中



教育長
ふるほら いさお
原 功

不登校児童生徒数が大幅に増加傾向にあり、「不登校を生まない」ための魅力ある学校づくりや授業づくりを進めるとともに、「不登校になってしまった児童生徒を支援する」ために、全ての児童生徒が社会的に自立することを目指す取り組みを進めています。

また、不登校児童生徒が登校するという結果のみに終始するのではなく、教育の機会を確保し社会的自立を目指すための方策として「不登校児童生徒の支援に関する指針」を策定するなど、あらゆる角度からの対策で、子どもたちや保護者に安心してもらえるよう取り組みを推進します。

ポイント3 社会全体でサポート

不登校児童生徒の支援に関する指針

不登校児童生徒に対する教育機会の確保のため、本年4月より運用を開始しました。

- ①フリースクールなど民間施設で学んだ場合の出席取り扱いを規定
- ②ICT機器などを活用した自宅学習の出席取り扱いを規定

多くの相談先・居場所

相談機関

- スクールカウンセラー
- 心の教室相談員
- スクールソーシャルワーカー ☎(32)6568
- 子ども支援室「あかり」 ☎(32)6745 など

居場所

- 子ども食堂 ●社会福祉協議会実施事業
- フリースクール など

キャリア教育の充実

小学校段階から将来の夢や目標に向けた取り組みを学びます。さらに中学校では、卒業後の進路について、多様な選択肢があることを学びます。また、不登校に特化したカリキュラムがあり学習を進めている高等学校についても学びます。

卒業後の進路

- 公立高校、私立高校 全日制・定時制・通信制
- 専門学校 など